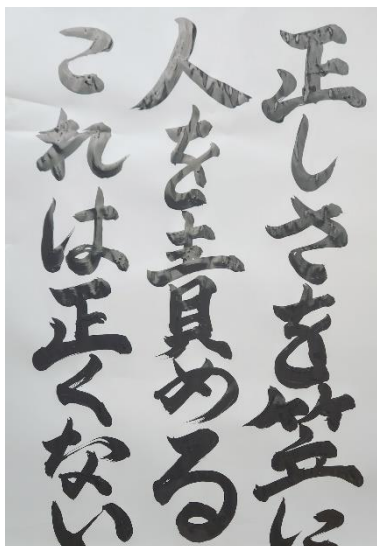


慶念寺々報

# つなばかり

## 慶念寺の掲示板 第二十七回



「正しさを笠に人を買める」

これは正しくない

今月の掲示は私が学生のころに読んだ『凶書館戦争』という小説に出てくるセリフ「正論は正しい、だが正論を武器にする奴は正しくない」がもとになっています。

このセリフは、多くの先輩がいた大学生の私に深く刺さりました。自分がまさにしていたことだったからです。正しくあろうとすることはとても良いことです。それが自分に向いているうちはいい。しかし、それが他者に向かった時、その正しきは時として人を傷つけてしまいます。しかも、自分が正しいと思っ

正当化してしまうことにもつながります。

正しさを振りかざすと、時として人は他者を傷つけることをいとわなくなる事があります。

その最たる例が戦争ではないでしょうか。いつだって争いごととは正しさと正しさのぶつかり合いです。

それに加え、今の社会は「こいつが間違っただことをしたんだから責めてもいい」という風潮があるような気がしてなりません。有名な人が不用意な発言をすると一斉に攻撃をする。「この人が間違っただことをしたから」「先に人を傷つけたのだから、この人は傷つけてもいい」そんな言葉を耳にするたび、気分が落ち込みます。そんなことあるわけがないのです。どのような状況下でも「人を傷つけてもいい」なんてことはありません。

正しさや論理を使って、教えようとしてくれる善意まで否定したいわけではありません。そこに明確な悪意や害意があるのに、正しさを包んで善意のようにふるまう。さも相手のことを思っているかのようなそぶりで行ってしまえば、ただの弱い者いじめです。



### 帰敬式のおすすめ (法名)

帰敬式というのは、浄土真宗の教えをよりどころに生きる自覚を新たにし、生前に法名をいただく大切な儀式です。本来浄土真宗では生きていく「今」に帰敬式を受式し法名をいただくのが本来のあり方です。ご希望の方は慶念寺にお尋ねください。

正しいことを言うことは良いことです。私自身もそうあるように心がけています。ただ、「正しさ」を笠に着てはいけません。社会に生きていくうえで、どうしたって誰かとぶつかることもあるでしょう。口調がきつくなってしまうことだってあるし、人を責めたくなることもあります。私だってそうです。だからこそ、自分の中の「正しさ」を見るのではなく相手を、そして自分を見る。それが、よりよい関わりにつながっていくのだと思います。

### お煤払い団体参拝旅行を行います

今年も十二月の十九日・二十日と京都の本山本願寺へ「お煤払い(おすすはらい)」の団体参拝旅行を行います。



お煤払いというのは、お寺の大掃除のことで、東西本願寺のお煤払いは京都の風物詩となっており、毎年多くの方が全国から訪れます。NHKのニュースなどで見たことのある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

昨年は、初日に本山に参拝した後、国宝の「書院」「飛雲閣」を見学しました。夜は京都の先斗町で京懐石に舌鼓。次の日は朝からお煤払いをして、その後は聖護院門跡の拝観をいたしました。参加した方は「貴重な経験になった」ととても満足そうでした。

今年も、初日は同じように本願寺の参拝。二日目はお煤払いをした後に、親鸞聖人ご



入滅の地である角坊(すみのぼう)別院に参拝し、十八年ぶりに本丸御殿が公開された二条城を観覧する予定であります。

申込書なども同封しておりますので、ご家族と、お友達とご参加いただけますと幸いです。初日に帰敬式も受式出来ます。ご希望の方は申込時にお伝えください。(お煤払い以外の行程は変更になる可能性があります)

### 第十七回公開講座を開催します



先月の発送物の中に案内を同封いたしました。公開講座を開催いたします。十七回目となる今回。歎異抄の総括である後序を学びます。ご講師の南條了瑛先生が「初めての方でも大丈夫ですよ」と優しく易しくお話をしてくださいませ。『歎異抄』は人気の書物ですが、その分信用できない解説書もたくさん出版されています。是非、この公開講座で安心して学んでください。

### 仏事について何かあったらまずお寺へ

ご法事に際しても、お葬儀に際しても、事前に日程を決めてからご連絡を頂くと、対応しかねる場合がございます。日程調整の上、予定を決めていきましょう。その際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。会場や葬儀社探しのお手伝いも致します。また日程や会場・葬儀社が**お決まりでも、お寺への連絡は直接お願いいたします。**

すでに、先月よりお申し込みをいただいておりますので、参加をご検討中の方はお早めにお申し込みください。

### 発送作業のお手伝いをお願い

来月も、寺報の発送作業のお手伝いをしていただける方を募集いたします。

日時：令和六年十月二十七日(日)  
十四時からの法話会に引き続き

場所：慶念寺本堂

内容：寺報等の封筒詰め作業

今月は、法話会の後に発送作業を行います。みんなでワイワイとおしゃべりしながらやっている発送作業です。寺報を折って封筒に詰めるだけ。時々子供たち参戦してみんなで楽しく作業をしています。お時間ありましたら是非お越しくださいませ。



### ご法事について

最近ご法事で皆様が悩まれるのが場所の問題です。慶念寺では、お寺だけでなくご自宅でのご法事や、お気軽にご相談ください。また、お布施に関しての質問等もお電話にてお尋ねいただきましたら、お答えいたしますので、こちらも遠慮なくお尋ねください。

### 次回の法話会は

十月二十七日(日) 十四時から 慶念寺本堂

にて「定例法話会」を行います。皆様のお参り、心よりお待ちしております。また、法話会後に寺報の発送作業をいたします。

### 編集後記

娘の夏休みも明け、すっかり普段通りの生活に戻りました。私は、十月に控えた川崎市戦没者追悼法要の準備が本格化しており、なかなか気の休まらない日々を過ごしています。

さて、今月の寺報にて年末に行われるお煤払いの団体参拝旅行の申し込みを開始いたします。個人旅行ではなかなかできない経験ができるため、ぜひご参加いただけますと思います。また、現地集合現地解散となります(希望者の切符は別途ご用意も可能です)ので、少し早く到着して観光。京都に残って自由散策。というような参加の仕方も歓迎です。

参加人数の関係で、今後開催できるかのお約束は出来ません。多くの方にご参加いただけますと、開催の可能性も高まります。ぜひご参加くださいませ！坊守の休みが取れたら子ども達も連れて行きたいなあ。



浄土真宗本願寺派 慶念寺 歓喜山

〒214-0012  
川崎市多摩区中野島 4-24-2-5  
電話：044-819-5482  
FAX：044-819-5538  
Email：mail@kyouenji.com  
ホームページ URL  
https://kyouenji.com/



慶念寺ホームページ QR コード